



姫路城

2024年

11月16日 土曜日

▶ 24日 日曜日

2025年

2月15日 土曜日

▶ 3月2日 日曜日

特別公開

姫路城の東側に位置する地形と城郭の構造を利用した高度な防御力をもつ^{からめて}搦手周辺を公開

トの櫓(まがし)・どの一門



トの櫓(まがし)内部



どの二門



桁形(ますがた)



どの四門



長壁神社遺跡(おさかべしたんじやいし)



「どの四門」から入城及び再入城はできません。特別公開エリアは、原則一方通行となり、「どの四門」からご退城いただきますので、西の丸及びお菊井戸の見学は先にお済ませください。

- 料金** 大人・小人(小中高生)ともに200円
※別途入城料が必要 ※入城料:大人1,000円・小人300円
団体料金(30名以上)大人800円・小人240円
- 受付時間** 9:00~16:30(最終入城16:00 閉城17:00)
- 受付場所** 「井郭櫓(いのくるわやぐら)」

特別公開みどころ



との一門



との四門



枅形虎口(ますがたこぐち)

との一門 姫路城に残る櫓門で白漆喰を塗っていない唯一の門。「昭和の大修理工事」までは白漆喰が塗ってあったが、解体してみると当初は塗っていなかったことが判明したため、元のとおり素木造り(しらきつくり)に戻された。秀吉が自身の権威を示すため、姫路城の北にあった置塩城(おじおじょう)から移築したものであるとの説もある。

との四門 姫路城の東側に位置する。かつては門の内側に穴蔵(あなぐら)が設けられ、火薬が収蔵されていた。



トの櫓(やぐら)



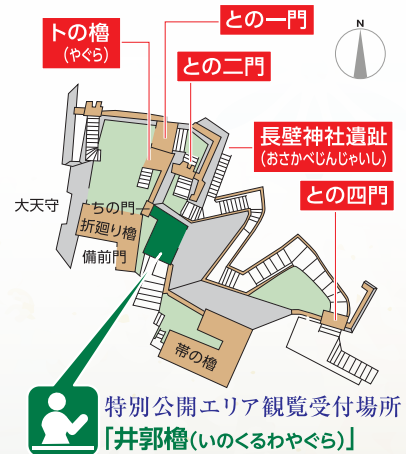
長壁神社遺址(おさかべじんじやいし)

トの櫓(やぐら) 東側と南側に開いている2つの格子窓から、との二門に向けて射撃する必要があるため、窓の下に床板を張って高くし、有効な射撃ができるようにしているとみられる。

枅形虎口(ますがたこぐち) 搦手道(からめてみち)には、との一門・との二門で構成された枅形(ますがた)が残っている。姫路城では枅形(ますがた)の2つの城門と土塀が残っている唯一の例。

長壁神社遺址(おさかべじんじやいし) との二門東側にある北向き石段の上の平場には、姫山の地主神長壁神社が祀られていた。現在は「長壁神社遺址(おさかべじんじやいし)」の石碑がある。

公開エリア周辺地図



姫路城入城記念に「姫路城御城印」

料金: 300円
販売所: 姫路城売店(出改札横)

現在販売中の御城印デザインは、姫路城世界遺産登録30周年記念として、現在の姫路城の基礎を築き、姫路市民にもなじみ深いと思われる池田家の揚羽蝶の家紋をモチーフとして制作されました。デザインの一部は特殊印刷を施し、光の当たり具合により模様が浮かび上がる特別仕様となっています。姫路城に来城された際には是非記念にご購入ください。



【ご利用案内】 観覧料 大人・小人200円 ※別途下記姫路城入城料が必要です

区分	個人料金(30人未満)	団体料金(30人以上)	備考	
入城料	大人	1,000円	800円	18歳以上の方
	小人	300円	240円	小学生・中学生・高校生

※小学校就学前は、無料です ※姫路城・好古園共通券 大人/1,050円 小人/360円

開城時間 9:00~17:00(最終入城16:00) ※特別公開の最終受付16:30

姫路城便覧

姫路城の情報をリアルタイムにお届けしています。姫路城への旅行計画にどうぞご活用ください。



入城口

井郭櫓(いのくるわやぐら)

公開エリア

